

未来への遺産

VOL.65

黄檗版大蔵経



黄檗版大蔵経(普賢寺蔵)

普賢寺の宝蔵倉には、木製の保管庫に入って、数多くの経が大切に保管されている。これらは、黄檗版大蔵経、又は鉄眼版一切経といわれるものである。この一切経は、黄檗宗の僧・鉄眼道光(1630~1680)が、日本に大蔵経の翻刻がないのを嘆いて、その開版を企て、この事業を達成するために、九州・大阪・江戸をはじめ各地に講説して、肥後の細川氏をはじめ、信徒の助縁を得て、延宝6年(1678)ようやく完成したものである。これが鉄眼版或は黄檗版と呼ばれるゆえんである。

鉄眼はその間幾度か飢饉ききんにあい、苦心くしん惨憺さんたんし集めた資財を二度までも投じて難民の救済に活躍したといわれる。しかし鉄眼は、初志捨てがたく、三度起って開版の資を集め、遂に完成したのがこの一切経である。

この一切経は、木版刷り袋綴の和本で、27箇の桐箱に納められ、保存状態も良好である。



大蔵経の保管状態

図説 “御代田の美と伝統”

■浅間山麓未来への遺産が一冊の本になりました! ■カラー 144頁 頒価 2000円 博物館窓口で販売中です

御代田町の人口(8月1日現在)

●人口 14,319人(先月比+29) 男 7,167人 女 7,152人
●世帯数 5,585世帯(先月比+17) ●外国人登録者数 795人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2 ☎0267-32-3111



みよた広報やまゆりは、資源保護と環境保全のため、古紙配合率100%再生紙と大豆油インキを使用しています。